

日販連通信

第41号
2012年2月6日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会
中塚 敏春

住所：〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-5-5
新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

安心・安全を福島から届けたい 豪雪の中で除染を開始しました



福島県内の果樹農家のみなさんが芽吹く前の今のうちにと、豪雪にもかかわらず除染作業を展開しています。2月3日に伊達郡桑折町(こおりまち)を訪ねました。同町は桃の一大産地です。

桃の除染は高圧洗浄機で一本一本丁寧に枝、幹すべてに水を噴霧して、表面に付着した放射性物質を洗い流す作業です。この作業は一人では危険なために桃畑のあちこちでグループを組んで地域総出で取り組んでいます。

放射性物質は枝の表側が裏側よりも多く、雪が積もったように付着しているので綿密に洗浄する必要があるとのこと。

福島県農民連産直農協の佐々木健洋参事がサーベイメータで計測してみました。洗浄前に $1\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ の幹が洗浄後には $0.85\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ に、枝は $0.8\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ が $0.75\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ にと洗浄効果は明らかでした。

桃の除染作業を説明してくれた産直農協の菅野泰伸理事は「厳寒の中での作業で、洗浄した枝につららが出るほどで風邪を引きました。川の水は使えないので地下水や水道水で300リットルのタンクを満タンにするには時間がかかります。除染で落ちたセシウムで地面は $1.45\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ にもなるところがあり、作業する農家の被爆や農家の梯子からの転落事故も心配です。

昨年桃からは放射線はほとんど検出されませんでした、風評被害で暴落しました。こうした農家の努力を消費者に伝えて、福島の桃が安心して買ってもらえるようにしたい」と語っていました。



福島県北農民連の阿部哲也副会長は梨を1ha栽培していて、やはり梨の木の除染作業を行っています。梨の作業にはもともと粗皮(そひ)削りという作業があります。これは病害虫が表皮に卵を産み付けるために皮を剥ぎ取る作業です。しかし、今年の粗皮削りはすべての梨の木を全面的に剥ぎ取らなくてはなりません。佐々木参事がサーベイメータで計測すると粗皮削り前 $0.85\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ だった表皮が $0.7\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ に落ちました。阿部副会長は「祖皮削りだけでは効果が少ないが少しでも線量を下げて消費者に安心を届けたい。祖父が植えた樹齢80年の大木の梨が何本もあり、1本一日がかりの作業になるが、発芽前の3月20日までにはすべて終了したい」と語っていました。

さらに阿部副会長は生活環境でのホットスポットの存在を指摘しました。雨水が溜まるところの線量は写真のように $4\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ にもなっていて、子供の健康が心配とのことでした。原発事故がもたらした被害の大きさを目の当たりにしました。



【お知らせ】阿部哲也副会長の講演会があります。是非ご参加ください。

～福島県の果樹農民が語る～

農民と原発事故

- ◆日時 2012年3月3日(土)14時～16時
- ◆場所 主婦連合会会議室(主婦会館3階)
千代田区六番町15(JR四ツ谷駅前)
- ◆講師 阿部 哲也さん



日販連がサーベイメータを購入

全職員が産地で計測できるように学習会を開催

2月3日夜に農民連食品分析センターの八田所長を講師に「放射線とサーベイメータ」の学習会を開催しました。

サーベイメータは空間線量はもちろん土や農産物の線量も測定でき、何よりも持ち運びできるので、圃場のホットスポットの発見にも役立ちます。福島県の事例から一枚の田んぼでも中央と四隅では線量が20倍も違ったとの報告もありました。ホットスポットを発見し、より効果的な除染ができることが期待されています。

今後職員が出張の際に持参して測定ができますので、遠慮なくお申し付けください。



「豚が逃げた」ではありません

雪原を走る放牧豚です



宮城県大崎市田尻で高橋精一獣医が経営する放牧豚です。2月2日はこの地方でも珍しいくらいの大雪でした。豚は肺炎を起こすのではと誰もが心配しますが、朝から晩まで伸び伸びと雪原で遊んでいます。「雪原を走る豚」は皆様も始めて見るのでは？

折りしもJAS法の改正案も出され、有機畜産に少し条件緩和があり、有機豚肉の開発の可能性が出てきました。「自分は日齢45日以降は有機的管理には問題ない。それ以前をみんなで知恵を出し合えば有機豚肉も夢ではない」と高橋獣医は語ります。

ご案内

東日本大震災、原発事故から一年を迎えるに当って様々なイベントが開催されます。ご都合つく限り是非ご参加ください。

「炊き出し&なんでも相談会」

今回は津波被害の大きかった山元町での開催です

2月16日（木）までに下記あて支援物資をお願いいたします。

- ・連絡先・受入先：宮城県農民連
〒989-6265 大崎市古川湊尻字大見 18-1
TEL：0229-27-2827、fax：0229-27-2833
携帯（鈴木）090-9539-0567

（参考）お昼時間に500食分の炊き出しやります

仮設住宅では、ビタミン不足の傾向にあります。くだもの・野菜大歓迎です。
お米も喜ばれます。

炊き出し&なんでも相談会



時間：2月18日(土) 11:00~13:00

直接、会場にて面談相談を行います。

会場：山元町 東田地区 仮設住宅

山元町浅生原字東田



◎お昼時間に炊き出しを行います。

◎救援物資も提供いたします。

お気軽においで下さい。

さまざまな相談に専門家が応じます。

農業問題 労働相談 健康・医療相談

土地・住宅被害相談 生活相談 その他

主催：宮城災対連・東日本大震災共同支援センター

仙台市青葉区五橋1-5-13 平和と労働センター県労連会館1階

TEL (022) 211-7002 Fax211-7004 Eメール mygroren@bz03.plala.or.jp

震災からちょうど一年の見逃せない大きなイベントです是非ご参加ください。

震災復興・なくせ原発3・11行動in東京

日時・内容	3月11日(日)11時～ 文化行事 13時30分～ メーン集会 15時～ パレード
場所	井の頭公園 JR中央線「吉祥寺」下車 京王井の頭線「吉祥寺」駅、「井の頭公園」駅下車
主催	原発をなくす全国連絡会

福島県の農業の復興・現場をまず見てください。

福島の農家と一緒に考えませんか

飯舘村への訪問コースもあります

二本松市の旧東和町でNPO法人ゆうきの里東和 ふるさとづくり協議会で活躍の菅野正寿さんからご案内をいただきました。同氏が会長を務める福島県有機農業ネットワークと福島県の共催です。



福島視察・全国集会

農から復興の光が見える!

～有機農業がつくる持続可能な社会へ～

2012年3月24日 土 13:30 ~ **25日** 日 15:00

会場/ホテル華の湯 (24日のメイン会場)
〒963-1387 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60 TEL 024-984-2222

1日目 シンポジウム (交流会)	■ 福島県の放射能汚染の実態 ■ 風評被害の現状と今後の行動、福島と「つながる」ために
2日目 現地視察	◆1 コース 避難区域における農業の現状視察 ◆2 コース 放射能と戦う農業者視察 (除染・放射能を下げる)

開催の趣旨

福島第一原発事故により、福島県は今人類まれにみる苦悩を味わっています。特に、土に生きる有機農業者の苦しさははかりしれません。しかしながら、福島はこの現状は、報道のみでは伝わりにくいものがあります。私たち福島県有機農業者の一番の望みは、まず、日本中の方々に福島の現状を見ていただき、正確に知っていただくことです。その上で、この福島の地で将来に向かって、いかに「福島に寄り添い」「福島とつながりながら」今後の復興を共に進めていけるか、そんな出発の機会と場が必要と考え、この大会を企画しました。

主催 福島県有機農業ネットワーク
共催 福島県

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp